



令和2年度川俣町立福田小学校学校だより

しらさぎ Kids NO. 29

令和2年11月20日

文責:校長 神尾孝弘

北海道の友達とオンラインでつながるよ



本校では数年前より総合的な学習の時間で、震災後の川俣町の復興の取組を学習し、県内外へ発信する学習に取り組んでいます。今年の6年生も、震災からの復興に向けて栽培されているアンスリウムの学習に継続的に取り組んできました。アンスリウムの特性を調べたり、生産者の皆さんの復興にける思いを聞き取りしたり、実際に植え付け体験を行ったりしてきました。

今年度も東京をはじめ県外でのPR活動を予定していましたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、オンラインでの交流学习に変更して実施しているところです。

11月16日(月曜日)。来週のオンライン交流学习の本番を前に、北海道栗山町の継立小学校のみんなと顔合わせを行いました。両校の子どもたちが、顔を合わせるのは初めてなので、どちらもどきどきの様子でしたが、互いに自己紹介や学校クイズ等を行ううちに、和やかな雰囲気になっていきました。遠く離れた北海道の友達と心を通わすことができ、子どもたちもとても嬉しそうでした。

来週(11月24日)のオンライン交流学习では、両校の学習の成果を発表し合います。きっと充実した楽しい内容になると思います。今から、とても楽しみです。

〈放射線教室を開催しました〉

11月10日(火曜日)。福島大学大学院の河津賢澄客員教授を講師にお迎えして、全学年で、放射線教室が行われました。子どもたちは、それぞれの学年の発達段階に応じて、紙芝居を見たり、クイズに挑戦したり、実際に放射線を測定したりしながら、放射線に対する正しい知識を教わりました。東日本大震災の原発事故を経験した福島の子供たちが放射線の性質を正しく理解し、放射線の影響を正しく判断できるようにするための学習を行うことは意義のあることだと思います。

今回の放射線教室を開催するにあたり、ご協力をいただいた放射線リスクコミュニケーション相談員支援センターの皆さんをはじめ、関係機関の方々に感謝申し上げます。

